

野島学術奨励事業

10周年記念講演会

11/25 (金)

中央大学 後楽園キャンパス
3号館 3階 小ホール 16:30~18:00

講演会 小売業の経営戦略とCSR

講演者 株式会社ノジマ代表執行役社長
野島 廣司氏

1973 年中央大学商学部卒業。有限会社野島電気商会（現ノジマ）に入社。一代で 2016 年 3 月末現在（連結ベース）、従業員数 4,654 人、売上高 4,548 億円の組織に成長させる。2007 年 6 月から現職。中央大学では『野島記念 BusinessAward』と題したビジネスコンテストの支援、また 2016 年から一般財団法人野島財団を設立し、志を持つ若者を積極的に支援している。

パネルディスカッション

IoTで変わる小売マーケティング



中央大学
戦略経営研究科長
中村 博

1979 年早稲田大学商学部卒業。経営学博士（学習院大学）、専修大学商学部を経て、2015 年 11 月から現職。専門分野はマーケティング、マーケティング・コミュニケーション等。



日経ビジネス編集長
飯田 展久氏

1987 年中央大学法学部卒業。日本経済新聞社入社、大阪・編集局社会部に配属。編集局流通経済部、ジャカルタ支局長、経済部次長を経て、2012 年編集局消費産業部長。2014 年編集局次長兼企業報道部長を経て、2015 年 4 月現職。

CSR

「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」のこと。

自らが行う活動が社会へ与える影響に責任をもち、あらゆるステークホルダーからの要求に対して適切な意思決定をする責任を差し、日本では、たとえば近江商人の家訓「三方（売り手・買い手・世間）よし」という形で、語られることが多い。

IoT

「Internet of Things」の略で、世の中の様々なモノにセンサーと通信機能を持たせ、あらゆるモノがインターネットにつながる状態になること。

「モノのインターネット」と訳される。例えば、冷蔵庫や牛乳パックにセンサーが搭載されインターネットでつながると、牛乳の在庫量が自動で調べられ、少なければ冷蔵庫が自動でお店に注文する、そんなことも可能になります。賢い家電が自動で家事をし、無人走行の自動車が走る、そんな S F のような世界が実現されると期待されています。

＜お問い合わせ先＞ 中央大学学事部学事課 参加費：無料 事前申し込み：不要
Tel.042-674-2137 e-mail: t-gakuji@tamajs.chuo-u.ac.jp